

## シンポジウム開催のお知らせ

2021年  
10/19<sup>火</sup>

13:30～16:30(12:30受付開始)

府中市市民活動センター  
プラッツバルトホール東京都府中市宮町1丁目100  
ル・シーニュ5階参加  
無料

## プログラム

手話通訳・要約筆記あり

## 13:30 主催者挨拶

石阪 丈一 (公財) 東京市町村自治調査会 理事長 (町田市市長)

## 13:35 基調講演

多様な生き方を支えるためのひきこもり支援

中島 修 文京学院大学 人間学部人間福祉学科 教授 博士 (社会福祉学)

## 14:05 調査研究結果発表

基礎自治体において取り組むべき

ひきこもり支援の内容やその展開方策

齋藤 彬子 (公財) 東京市町村自治調査会 調査部 研究員

## 14:35 休憩

## 14:50 パネルディスカッション

## コーディネーター

中島 修 文京学院大学 人間学部人間福祉学科 教授 博士 (社会福祉学)

## 第1部 行政が取り組むひきこもり支援

自治体におけるひきこもり支援

～文京区版ひきこもり総合対策から～

大戸 靖彦 文京区 福祉部 生活福祉課長

## 第2部 支援団体によるひきこもり支援

ひきこもりリスクを抱えた若者たちの  
自立支援システムづくりとその運営

佐藤 洋作 認定特定非営利活動法人 文化学習協同ネットワーク 代表理事

ひきこもりをとらえなおす～当事者とデザインする支援とは～

林 恭子 一般社団法人 ひきこもりUX会議 代表理事

## 第3部 自治体のひきこもり支援についての意見交換

## 16:30 閉会

## 出演者



中島 修

大戸 靖彦

佐藤 洋作

林 恭子

※新型コロナウイルス感染症の感染拡大状況によっては、中止となる場合があります。 ※マスク着用の上ご来場ください。

主催：公益財団法人 東京市町村自治調査会 (2021年度 調査研究結果発表シンポジウム)

多様な生き方を地域で支援する

ひきこもり支援の必要性

これまで、ひきこもりは個人の問題とされ公的な支援があまり実施されていませんでした。ひきこもりは生産年齢人口の減少に伴う働き手不足や税収減、社会保障費の増加に関わり、基礎自治体にとっても潜在的な課題となっています。ひきこもり状態の住民への支援は、さまざまな世代の孤立防止、地域で元気に暮らす住民の増加につながります。今回、「ひきこもり支援の必要性～多様な生き方を地域で支援する～」をシンポジウムのテーマとし、ひきこもりの実態や実際の支援の取組、課題や今後の方向性などを提示することで、行政が支援に取り組む必要があると理解してもらうことを目的としています。

## 出演者プロフィール



## 中島 修 (なかしま おさむ)

文京学院大学 人間学部人間福祉学科 教授 博士 (社会福祉学)

狛江市社会福祉協議会、厚生労働省社会・援護局地域福祉課地域福祉専門官、文京学院大学准教授等を経て、2020年より現職。社会福祉士。東京都ひきこもりに係る支援協議会副会長、豊島区ひきこもりに係る支援協議会会長、埼玉県地域福祉推進委員会委員長等多くの役職を歴任。主な著書、編著「ストーリーで学ぶ地域福祉」有斐閣、編著「コミュニティソーシャルワークの理論と実践」中央法規、共著「地域福祉と包括的支援システム」明石書店など多数。

●講演内容：多様な生き方を支えるためのひきこもり支援



## 大戸 靖彦 (おおと やすひこ)

文京区 福祉部 生活福祉課長

1986年に文京区役所に入区。職員研修・広聴業務等に従事後、東京二十三区清掃一部事務組合へ派遣。帰任後は区議会事務局の議事業務等に従事。2019年に管理職に昇任後、地域活動センター所長を経て、2019年より現職。2020年4月から、文京区版ひきこもり総合対策「～8050問題」の予防から支援まで～として、ひきこもり支援センターを設置し、ひきこもりの複合的な課題に一元的に対応できる総合的かつ包括的な多職種連携による相談支援を展開している。

●講演内容：文京区版ひきこもり総合対策におけるひきこもり支援センター活動報告等をご紹介



## 佐藤 洋作 (さとう ようさく)

認定特定非営利活動法人 文化学習協同ネットワーク 代表理事

東京三多摩地域をフィールドに学習の遅れのある児童への学習支援、不登校の子どものための居場所づくりなどに携わる。1990年代後半からひきこもりの若者のための社会参加プログラムも展開し、2000年に入ってから政府や自治体からの若者支援事業の委託を受けて、「地域若者サポートステーション」を実施するほか、生活困窮世帯の子どもたちの学習支援にも取り組む。これまで、さまざまな青年期教育の講師として活躍している。

●講演内容：義務教育段階から青年期を通した同行支援、就労支援など多様な支援メニューを紹介



## 林 恭子 (はやし きょうこ)

一般社団法人 ひきこもりUX会議 代表理事

高校2年生で不登校・20代半ばでひきこもりを経験する。信頼できる精神科医や、同じような経験をした仲間達と出会い少しずつ自分を取り戻す。2012年から「自分たちのことは自分たちで伝えよう」と「当事者発信」を開始し、イベント開催や講演、研修会の講師などの当事者活動をしている。令和元年度東京都女性活躍推進大賞優秀賞受賞。就職氷河期世代支援に向けた全国プラットフォーム議員、東京都ひきこもり支援協議会委員等歴任。

●講演内容：個人の体験談、女性向け支援の必要性、支援のプラットフォーム作りなど

## 会場案内

## 府中市市民活動センタープラッツバルトホール

東京都府中市宮町1丁目100 ル・シーニュ5階

京王線利用の場合 府中駅南口から徒歩1分(駅直結)

JR線利用の場合 南武線、武蔵野線 府中本町駅から徒歩10分

P 駐車場(有料)

B 駐輪場(有料)



## 参加申込み方法

申込  
締切10/12<sup>火</sup> 必着

※当日参加不可

先着 40名

WEB <https://e.try-sky.com/kenkyu/>

FAX 「参加申込用紙」にご記入の上、下記事務局まで

郵送 「参加申込用紙」と同じ項目をご記入の上、下記事務局まで



■先着順に「参加証」をお送りします(お申込み後、1週間程度で発送)

■当日、受付にて「参加証」をご提示の上、ご入場ください

■多摩・島しょ地域自治体職員の方は、各自自治体研修担当を通じてお申込みください

※ご記入いただいた個人情報は適切に管理し、参加可否を通知するための連絡先情報及びご本人確認のための情報として利用させていただきます。ご本人の同意なしにその他の目的で利用・提供はいたしません。  
※万が一新型コロナウイルス感染症の感染者が発生した場合など、必要に応じて保健所等の公的機関へ提出させていただく場合があります。

## 参加申込用紙

※下記の項目についてご記入ください。 \*印は記入必須項目です。  
※代表者宛に「参加証」をお送りします。異なる住所への送付を希望される場合は、別途お申込みください。

代表者お名前(ふりがな)\*

住所\* 〒

お申込み人数\*

TEL\*

FAX

E-mail

## 参加申込・お問合せ

2021年度調査研究結果発表シンポジウム事務局(株式会社トライ内 10:00～18:00 土日・祝日を除く)

〒113-0021 東京都文京区本駒込3-9-3 TEL.03-3824-7231 FAX.03-3824-7250 E-mail:kenkyu@e.try-sky.com